

患者さんとの関係を構築して、リハを促そう！

失語の種類ごとにわかる、失語症の患者さんへのかかわりかた

プランナー：沖田啓子 西広島リハビリテーション病院(ST)

特集

失語症は言語によるコミュニケーションを障害するため、看護師が患者さんとかかわるのがむずかしくなる原因となります。脳の障害される部位によって症状が異なり、患者さんによって症状の差が大きいいため、失語症についてよく理解したうえで看護師は患者さんと会話する必要があります。一方で、看護師が患者さんと話すことで患者さんへの刺激となり、回復を助けることから、看護師が適切にかかわることが重要です。そこで本特集では失語について、種類ごとに患者さんへどうかかわればよいかを解説します。

〈総論〉

失語症の種類と特徴

沖田啓子

西広島リハビリテーション病院リハビリテーション部

脳の画像から見る失語症

高橋哲也

株式会社エムネス・脳神経内科医師

失語症の検査

平山孝子

広島国際大学総合リハビリテーション学部言語聴覚療法学専攻

失語症のリハビリテーション

時田春樹

川崎医療福祉大学リハビリテーション学部言語聴覚療学科副学科長／教授

コミュニケーションツールの活用

坊岡峰子

県立広島大学保健福祉学部保健福祉学科コミュニケーション障害学コース
学科長／コース長／教授

看護の視点からみた失語症

坂野ゆかり

西広島リハビリテーション病院看護介護部副部長／看護師長

〈各論〉

軽度の失語症をもつ患者さんへのかかわりかた

三島美紀

西広島リハビリテーション病院看護介護部主任

運動性失語の患者さんへのかかわりかた

中林裕美

西広島リハビリテーション病院看護介護部副主任

感覚性失語の患者さんへのかかわりかた

川端直子

広島市立リハビリテーション病院看護科

全失語の患者さんへのかかわりかた

伊東由美子

一般社団法人是真会医療安全管理部長

読者ターゲット

リハビリテーションにかかわるナース、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などの
コメディカルスタッフ

ADポイント

リハビリナースでは、摂食・嚥下リハビリ、病棟リハビリ、地域連携、患者さんの
全身管理などについて、さまざまな角度から取り上げます。

広告締切

申込締切日：2025.11.12 版下出版社必着：4C 2025.11.12 1C 2025.11.26 綴込 2025.12.1

広告料

(税抜き)

掲載面	刷色	スペース	料金	サイズ(mm)
表4	カラー	1頁	250,000	205×172【断ち切り】
表2	カラー	1頁	230,000	257×182【断ち切り】
表3	カラー	1頁	210,000	257×182【断ち切り】
記事※	カラー	1頁	160,000	257×182【断ち切り】
記事※	1色	1頁	80,000	220×150
記事※	1色	1/2頁	50,000	105×150
綴込		1枚	100,000	仕上がり天地左右3mm タチシロありの印刷物

※掲載場所指定は20%増の料金となります(記事中カラーのみ対応)。

●広告原稿は完全データでお願いします。※広告掲載前に審査がございます。事前に広告内容をお知らせください。

●入稿の際は、広告データ、出力見本(確認用PDF)をご準備ください。

●広告掲載スペースには、断ち切りサイズ掲載可能スペースと、掲載不可のスペースがあります。掲載スペースとサイズをご確認ください。

●企画内容が変更になる場合があります。

(株)メディカ出版 総広告代理店

株式会社 メディカ・アド

〒105-0013
東京都港区浜松町1-12-9 第一長谷川ビル2F
TEL:03-5776-1853 FAX:03-5776-1854
担当：営業部